



男女共同参画情報誌

# あなたとわたし

vol.46  
2014.11月号

性別や年齢、国籍などの違いを超え、平等にともに手を携える関係でありたいから

特集

## ズバリ! 家事は負担ですか?

「育メン」が流行語大賞に選ばれたのは2010年(ユーキャン新語・流行語大賞)。

最近では「家事メン」という言葉も聞かれるようになりました。

テレビCMなどでも男性が家事をする姿が頻繁に登場するなど

今や、男性が家事をすることは珍しくなくなりました。

女性が一人で家事育児を担うという時代は変わりつつあるのでしょうか?



### 家事をよく手伝う夫なら

### 「将来子どもを持ちたい」が7割!?

国立社会保障・人口問題研究所が8月に発表した全国家庭動向調査は、世の中の「家事メン」ブームとはちょっと異なる結果のようです(下グラフ)。

夫婦の家事分担は、妻が約85%な

のに対して夫は15%。これは15年前の調査結果からわずかに改善されたにすぎません。妻がフルタイムで働く世帯でも、約44%の妻が、家事を90~100%担っているというのです。まだまだ家事負担は女性の肩に大きくのしかかっており、夫の帰宅時間が遅くなるほどこの傾向は強くあらわれます。

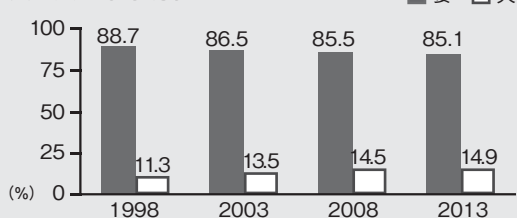
また、「今後子どもを持つ予定がある」と答えた妻(40歳未満、子どもなし)は、夫が家事を「よくする」世帯では7割を超えたのに対し、「ほとんどしない」世帯では半数以下という結果も出ています。

重すぎる家事育児負担は、少子化の一因とも言えるでしょう。

男性が家事育児に参加できないのは、長時間労働を前提とした日本の企業風土にも原因があります。現在、国が進めている女性活躍推進への取り組みは、長時間労働をよとしてきた企業の改革にも踏み込んだ内容です。早く帰宅できれば、男性の家事育児への参画も高まり、家事育児負担が女性に偏っているという現状も改善されるかもしれません。

次ページでは、福生市内在住・在勤の人たちに、家事分担の実態を聞いてみました。

妻と夫の家事分担



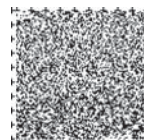
注1) 妻の年齢が60歳未満について集計。

注2) 妻と夫の家事の合計を100としたときの分担割合。

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。

専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。

専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。

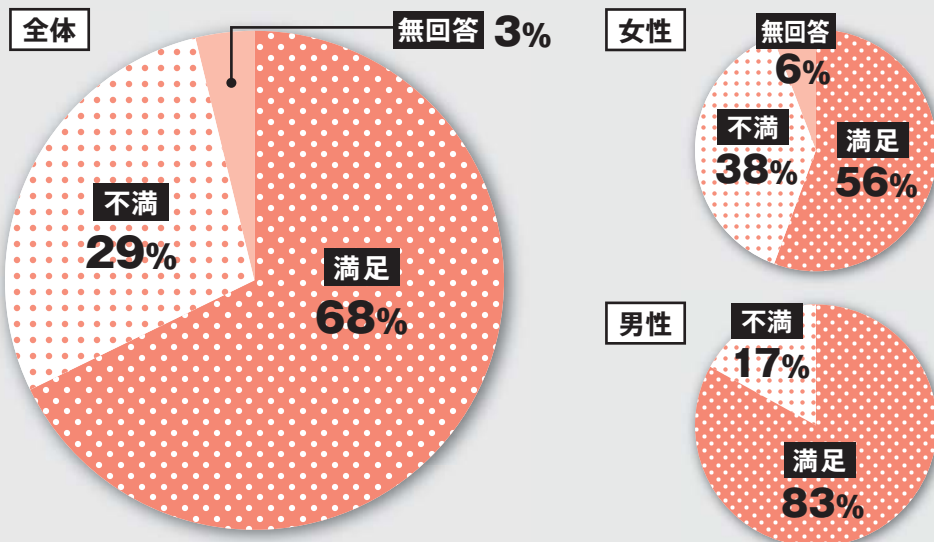


# Q

## あなたは、今の家事分担に満足していますか？

[調査概要] 福生在住在勤の方28名にアンケート用紙による調査を行いました。男性(30代1名、40代4名、50代5名、60代2名、計12名) 女性(20代2名、30代3名、40代8名、50代2名、60代1名、計16名)

全体では約7割が満足と回答しています。男女別でみると、満足は男性83%、女性は56%。男女に約3割の差があることがわかりました。



家事はできればやりたくないと言われるから、仕方なく我慢してやっている。家事はできればやりたくないが、言われているうちに、食事の準備やあと片付けなど、分担しているという意識なく習慣化してきたこともある。  
(50代 男性 フルタイム)

### 満足・不満の理由を聞いてみました！

○は満足、□は不満のコメント

**できる人ができることをする！**  
分担を決めず、できる人ができるときにしている。とくに負担は感じていない。他の家族がどう思っているかこれを機に話し合ってみよう。  
(30代 女性 パートタイム)

**不満も笑いながら言える関係を心がける！**  
きっちり分担するのは難しいので均等でなくてもよしとした。自分が多めにやったときの不満も笑いながら言える関係をお互いに意識して維持している。「ありがとう」の感謝の言葉も忘れない。  
(30代 女性 フルタイム)

**分担のルールを決めている**  
だれがではなく、一番早く帰宅する人がやる。私の家事にダメ出しされたら「いいようにご自分でどうぞ」と言う。  
(40代 女性 パートタイム)

**誰かにまかせきりにしないで！**  
キッチンもお風呂もトイレも、汚した人がきれいにしないことが不満。きれいに使うこと。誰かにまかせきりにせず、気がついた人やそのときできる人がやれば、それぞれの負担も減るのではないかと。  
(20代 女性 無職)

**やりたいけど家族に不評……**  
主に買い出しと料理をしたいが、自分の味付けに問題があるようで、家族に納得してもらえない。いまは自分の食べるものだけ作っている状態。  
(60代 男性 無職)

**パートナーの意識改革が必要……**  
家事のほとんどを私が担当。子どもたちが役割意識をもって積極的に家事分担できるようにしたい。そのためにはパートナーの意識改革も必要。  
(40代 女性 パートタイム)

## 分担成功の秘訣

- 1 分担をするがきっちり決め過ぎない
- 2 互いの得意分野を活かす
- 3 感謝の気持ちを言葉にする
- 4 ダメ出しをしない
- 5 相手に期待しすぎない

### お互いに期待しすぎない

家事が無理をしない。家事ができることを幸せと感じて行う。健康と家族に感謝。お互いに期待しすぎない。簡単な家事からお互いの習慣にする。笑顔でやる!  
(50代 女性 無職)

### 互いの得意なことをやる!

それぞれの得意分野を尊重し、楽しんでやっています。協力して分担すればトータル的に軽減につながるのかな?  
(60代 男性 無職)

### 家事は女の仕事!?

無意識に家事=妻がやるものと思っているようだ。  
(50代 女性 パートタイム)

### 感謝の気持ちを言葉にする!

家事はパートナーと分担している。妻には感謝の気持ちを言葉にして伝えている。  
(30代 男性 フルタイム)

### 言うまで気づかない!

洗濯、ゴミ捨て、食器洗いなどは分担している。各エリアの掃除などは分担していないため、私がやるか「やってほしい」と言うまで、パートナーはあまり気づかない。  
(20代 女性 フルタイム)

### 互いにできる範囲で!

私はフルタイム勤務ですが男性の方が労働時間が長いので、家事分担が平等でなくても仕方がない。でも互いにできる範囲でやっていたらそれでもいいと思う。  
(40代 女性 フルタイム)

## まとめ

家事は大変だけれど、人が人として生きていくために絶対に必要なこと。全く平等に分担することは難しいことだから、それぞれのご家庭で工夫しながら乗り越えていることがわかりました! これを機会にお互いの分担について家族で話し合ってみませんか?

## 田 わが家のアイデア!

## こうやって負担を軽くしています!

- 1日1か所掃除を週2~3回して、1日の掃除時間を短縮!(20代女性)
- 休みの人が多めに家事をやる(40代女性)
- 苦手な家事は音楽、香りなどを取り入れて楽しめる工夫をする(30代女性)
- 多少散らかっていても気にしないことにする(40代女性)
- 乾いた洗濯物は畳まないでカゴに放り込む(30代女性)
- 最初からきれいに使って、掃除の手間を省く(20代女性)
- 食事はワンプレートに盛付して洗い物を減らす(30代女性)
- 野菜の下処理などに子どもを巻き込む(30代女性)
- ぬれたり汚れたりしたらすぐ対処し後回しにしない(40代女性)
- がんばらない(50代女性)

## 手間なしレシピ紹介

## ミキサー要らずのスムージー



手軽でヘルシーと人気上昇中のスムージー。ミキサーなしで作れるって知ってました? 福生市輝き市民サポートセンターで開催された、「市民活動のひろば ~輝き hands to hands 2014~」(8月29日~31日)に出展されたレシピを紹介します!

### 【材料】

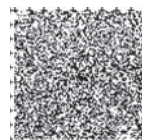
バナナ、みかん(缶詰)、プレーンヨーグルト、牛乳、冷凍ブルーベリー(あれば)  
(分量はすべてお好みで)



作り方:厚手の食品用ビニール袋に材料を入れてよく揉み込む。カップに注ぎ、冷凍ブルーベリーをトッピングすれば完成!

ミキサーを使わないので、後片付けいらず。お好みの果物で楽しんでみてください。  
(市民編集員)

目の不自由な方への情報ツールとして開発された二次元シンボル「SPコード」を掲載しています。専用の読み取り装置を使って、今号の内容を要約した文字情報を音声で聞くことができます。専用の読み取り装置は市内の公共施設9か所に設置しています。くわしくは協働推進課へお問い合わせください。







# 男の生き方 女の生き方



福生市在住の方々に聞いた、それぞれの男性観、女性観。  
今回は家事とのかかわりについて聞いてみました。

## 男の生き方

### 娘とボーイフレンドの姿に教えられ 男子厨房に入る

80代 男性 熊川在住

私が台所に入るようになったのは50代後半でした。それまでは厨房に入るなど念頭になく、戦中、戦後と必死に生きてきました。結婚してからは、子育てには関心を持ち、子どもたちとの関わりも大切にしてきましたが、家のことは妻に任せ、私は家族に不自由な思いをさせないよう仕事に明け暮れる日々を過ごしました。

時代が移り変わり、衣食住も安定し、それなりに豊かな生活を送れるようになってきたある日、娘がボーイフレンドを家に招きました。

妻の手料理を囲でのだんらんのひとときが終わると、娘とボーイフレンドが連れ立って台所に立ち、一緒に後片付けを始めました。私は結婚してからも台所に入ることなどありませんでしたが、二人の姿を見てとても微笑ましく思いました。それからは、私もなにか手伝うことはないかと台所で妻の側に立つようになりました。

定年退職後、二十数年が経った現在、勤労と内助を信条に、料理はもちろん、室内外の掃除や洗濯、買い物もします。秘訣は在職中のモットー「協調、協力」です。また、夫婦の共同作業の場面では家事の先輩である妻を立て従順に従います。

お互いの立場を理解した上で、一步先んじた行動をし、妻が働きやすい場づくり、そして妻のよき伴侶となるよう心掛けています。

## 女の生き方

### 家族と職場の理解があったから 仕事を続けられた

90代 女性 福生在住

昭和19年、上司の勧めで軍人の夫のもとに嫁ぎました。戦争中で花嫁衣裳もなく、父は知人から譲ってもらった配給切符で一反の反物を手に入れ、もんぺの上下を仕立てて送り出してくれたんです。夫は、仕事の都合で家をあけることが多く、明治生まれの厳しい姑と不安な日々を過ごしました。今振り返ると、戦争中はよくぞあのようなことができたものだと思うことばかりですよ。庭の片隅に姑と二人で大きな穴を掘り、二人入るのがやっとの小さな防空壕を作ったりね。空襲警報が鳴るとそこへ逃げ込むことを何度も繰り返すうちに終戦を迎えました。

戦後は食糧難でしたから、少しでも多くの食糧が欲しくて大切にしていたものを抱えては遠くの農家へ交換をお願いに行きました。ないない尽くしの時代で、もっともっと大変な方もいたでしょうね。

戦後の混乱も収まり、穏やかな生活が送れるようになると、私は再び仕事を始めました。事務のパートから正社員になり、仕事は毎日多忙で残業を頼まれることも度々ありました。残業するときは、いったん家に帰り、夕飯の支度をしてからまた職場に戻って仕事をしました。家事は姑が掃除くらいはしてくれましたし、子どもも中学生になっていましたから、私が働くことに家族からの反対はありませんでしたよ。家族と職場の理解があったから60歳まで仕事を続けられたのでしょね。

広告を募集しています！ 次号は2月発行予定です(全戸配布)

「あなたとわたし」に掲載する広告を募集しています。

【規格】 4.5センチ×9センチ。各号2枠

【広告料】 1枠：15,000円

※申込み用紙は市のホームページからダウンロードできます。内容により広告掲載できない場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

【問合せ】 福生市生活環境部協働推進課 TEL551-1590

市民編集員 ○田中直美 ○谷川由紀子 ○寺崎敏枝  
○濱原幸恵 ○山下光男

作製：(有)セイビ印刷所 協力：石井栄子(編集)、青木由佳(DTP)

あなたとわたし vol.46 2014年11月号

発行：福生市 生活環境部 協働推進課

〒197-8501 東京都福生市本町5番地 電話 042-551-1590

http://www.city.fussa.tokyo.jp/